

分野連携企画報告書

行事（企画）名 日本JSME・韓国KSMEジョイントシンポジウム

行事URL <https://confit.atlas.jp/guide/event/jsme2021/top>

1.開催日・会場

2021年9月7日・千葉大学（西千葉キャンパス）、Zoomでのオンライン

3.企画内容

BE部門では韓国機械学会バイオエンジニアリング部門（KSME Bioengineering Division）との連携を発展させるために、2013年にMOUを取り交わし、日韓ジョイントシンポジウム（Japan-Korea Joint Symposium）を開催してきた。2018年から部門間交流も兼ねてSHD部門と本シンポジウムを共催することとなった。主な内容は、シンポジウムを毎年どちらかの国で開催するものである。本年は、BE部門とSHD部門の分野連携企画として、JSME/KSMEジョイントシンポジウムを2021年度年次大会期間中にオンライン開催で企画した。

4.連携の成果

ジョイントシンポジウム実施に伴い、BE、SHD部門の運営委員会から分野連携担当、企画担当、国際担当、広報担当、部門年次大会担当に参画してもらい、本企画のWGを構成した。WG会議を計3回（当日含む）をおこなった。担当を明確にしたため、実施日、広報手段、講演者の選定など部門間で連携をとりながら円滑に進めることができた。

シンポジストは日本側3名、韓国側3名、参加者は50名以上であった。シンポジウム終了後、WGメンバーを中心に、韓国側と今後のジョイントシンポジウムの進め方・意見交換をおこない、次年度は6月か11月に韓国で開催することを確認し、シンポジウムを成功裏に終わることができた。

2.企画部門

バイオエンジニアリング（BE）部門／スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス（SHD）部門

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

前回ジョイントシンポジウムまでは、BE部門国際委員長と幹事が企画運営のすべてを担当していたが、分野連携WGを構成したおかげで、役割分担が明確になり企画を円滑に進めることができた。

部門ごとに運営体制などが異なることが多いので、部門運営を把握している部門運営委員会メンバーでWGを構成した。両部門間で情報共有、情報発信、シンポジスト選定などを円滑に進めることができた。

国際企画だったため、韓国側とのやりとりが当初進まなかったところがあったが、シンポジウム終了直後に次年度の筆頭担当を日本側、韓国側で1名ずつ決めたことで、次年度の企画運営を円滑に進める体制を整えた。

両部門のHPおよびインフォメーションメールでジョイントシンポジウムの案内をおこなったが、効果がどのくらいあるかは課題として残った。